

災害等対応訓練実施

氷見市防災計画では学童保育などが日々利用する施設を、要配慮者施設(社会福祉施設の位置付け)としています。十三公民館は大雨・洪水、土砂災害、津波、地震など災害時の避難所、避難場所(宿泊する場合)に指定されています。

十三公民館では年最低2回の消火避難訓練を義務付けられています。このことに加え公民館を利用する湖南校区児童育成クラブでは、大切な



子供たちを火災や自然災害そして不審者侵入などから守るため、学童児童育成クラブ安全計画を策定しています。

施設・整備の安全点検、マニュアルの策定、児童・保護者に対する安全教育や周知・共有するなどに努めています。

訓練としては、消火避難訓練、不審者侵入訓練、水害時の避難訓練、地震時の避難訓練及び消防や警察への通報訓練などを実施しています。



不審者対応訓練風景

十三地区の史跡・伝承

仏生寺城主・新蔵人職綱

シンクロウドモトツナ

鞍骨と上中とを境とする所に標高二七〇.三メートルの「城山」がある。

室町時代(一五二〇頃)、新蔵人職綱という武将が山城を構え、近隣一帯を統治した。その城主の子供が銚根の唯明寺を創建。僧善西^{ゼンサイ}という。赤毛の西念寺は職綱の菩提寺である。天文十五年(一五四六)、西念寺と仏生寺の白山社へそれぞれ寺社領を寄進し、制札(禁制)を与え、保護した。仏生寺の白山社とは御田神社のことであり、職綱の祈願所として再興された。

制 札 上庄西念寺

- 一、濫妨狼藉之事
- 一、伐取竹木事
- 一、俗人寄宿之事

右条々堅停止事、若於違犯族者、可罪科者也。

依執達如件。

天文拾五年三月十三日

新蔵人職綱（花押）

職綱は領民に米・串柿・葛粉を作することを教えたという。今日、赤毛の串柿や鉾根の葛粉作りは、その時代に培われた産物という。

天正元年（一五七三）、上杉謙信が越中に侵攻。この頃、飯久保城主、狩野中務や仏生寺城主、新蔵人職綱、鞍川の鞍川兵庫助らは土豪武士として神保長職方に属していたが、七月、上杉謙信の軍勢にたちまち攻め落とされた。

城主職綱は死んだが、家来の中には善西を慕って鉾根に住み、後、大阪の石山御坊の戦いに善西に同行。大いに手柄を立てたという。

城主の霊は大蛇に変身し、城山に、ありし日をしのび偲び今も生存しているという。

そして、昔からその大蛇は氏神の祭礼や西念寺の報恩講には、必ず大雨を呼び、お参りに来たという。

今でも秋の祭礼や六月の報恩講に大雨が降ると、里人は、「今年もやっぱり大蛇がお参りに来た」と話し合っている。

大 覚 口

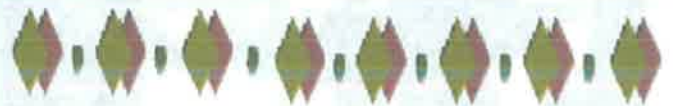
大覚口は大覚寺への参道入口という意味であろう。

小久米の上野山勝伝寺はもともと仏生寺の大窪領内大長谷の山中にあつて、真言宗で大覚寺と称した。

戦国時代の兵火により焼失し、その後の復興が難しかったところ、池田城主小浦石見守一守によって明応五年（一四九六）、小久米の上野山に建立された。時の僧は慶信であった。

今日、大覚口・大窪の集落には勝伝寺の門徒が多い。

7月の講座案内



講 座 名	曜 日	実 施 日	時 間	団体・講師名
詩 吟	月	7日・14日・28日	13時30分～	大賀さよ子先生
手 芸	火	1日・8日・15	13時00分～	
詩 吟	水	2日・9日・16日・23日・30日	13時00分～	斎藤美紀子先生
三 味 線	木	10日・24日	19時30分～	山下 茂昭先生
バランスボール	日	休講	10時30分～	浦野 司先生
オカリナ	金	4日・11日・18日・25日	14時00分～	尾崎 夫先生
3B体操	木	3日・10日・17日・24日・31日	14時00分～	堀川絹代先生
健康講座		13日・19・21日 (日) (土) (月)	10時00分～	浦野 司先生